
ゴキブリな我輩と男子高校生どもと

U-Ton

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゴキブリな我輩と男子高校生どもと

【コード】

N3916U

【作者名】

U・Ton

【あらすじ】

ゴキブリのお話。じ、実話なんかじゃないんだからねっ！！

我輩はゴキブリである。名前はまだ……いや、実はついている。我輩はGundamというらしい。通称Gだそうだ。

名前をつけるということは、つまりは人に捕まっているということになる。

全く情けないことではあるが、文化祭なるものの時に床に引く青シートの下に隠れていた所を見つかってしまったのである。

だから、我輩は今、直方体の箱　ペットボトルというらしいがに囚われているのである。

様々な人間を見てきたが、その中でも男子校の男子なるものは全く変な者達である。

我輩が姿を現せば、泣く者、潰そうとする者、捕らえようとする者……

多くの者が右往左往する中、ある一人がひょいと我輩を掴んでペットボトルに入れる。

すると、今度は潰そうとする者、飼うと言い出す者、それらを気味悪そうに見る者、自分の世界に熱中して騒ぎにも気付かない者……とにかく、多種多様である。

結局、飼うことに決めた　らしいのだが、全くもって意味がわからない。

そんな事をするくらいなら潰せばいいのに、甚だしく無意味な行為である。

しかも、彼らは我輩を黒板の上に置き授業中にいつでも見れるようにし、我輩を見てニヤニヤ笑うのだ。

もはや呆れを通り越して気持ち悪いと言わざる終えない。

ある日、我輩がいつもの通り黒板の上のペットボトルの中で、連中から与えられた残飯をたべていると、風が吹き落ちてしまった。

さあ、驚いたのは教師である。

「こんな物を飼うなんて君たちは正気か？」等と言いだめた。
単純明解な答えである。

彼らは少し、いやかなり狂っている。

ここ3日くらいしか見ていない我輩でもわかる単純な答えである。
この教師は相当頭が悪いやつなのだろうか？いや、男子高校生に毒
されてしまったという線が妥当なところであろう。

奴らは可笑しいからな。ほら、今だって

「先生。Gundam、いやGは殺させない！」
だの

「命は、平等何です！」

だの言っている。馬鹿だ。

だが、腐っていようと、毒されてはいようと流石は教師。

暫く皆の意見を頭で吟味し、こう言った。

「そうか……。このゴキブリを生かしたいという諸君の気持ちはわ
かった。だから、ここは公平に多数決で決めよう！」

……。やはり、毒され過ぎているようだ。

次のHRの時間でなんと我輩は飼われることになってしまった。

そんな馬鹿な……

しかし、その教師はそれで納得したらしく、虫籠でちゃんと飼って
やろうと言いだめた。

余計なお世話だ。そこまでするくらいなら我輩を逃がせば簡単に解
決するものを。

そして、虫籠に入れられそうになった日、我輩は隙を見て逃げ出
した。

馬鹿な高校生共は「さよなら」、「元気だな」、「民主主義の大切
さを思い知らされたよ」、「また会える日を楽しみにしているぜ」
などと言っていた。

我輩を拉致監禁しておいて楽しみも糞もないだろう。
そんなわけで、我輩は今日もまだ生き延びているのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3916u/>

ゴキブリな我輩と男子高校生どもと

2011年10月9日17時26分発行